

自立相談支援事業 支援好事例（架空）

場所	沼津市自立相談支援センター		
性別	男	年齢	40代
支援期間	6ヶ月		
特徴・課題	・離婚後、住宅ローンをはじめとした各種支払いが滞るようになった。 ・長く勤務していた会社を退職した。 ・失業給付金と退職金での生活も行き詰った。 ・家賃の滞納も発生したことから、住居の退去を求められるようになった。 ・日々無気力な生活を送っている。		
支援メニュー	・短期間の就労準備支援 ・家計改善支援事業の活用 ・就労支援		
支援概要	・他者との関わりがなく孤立化している事から、自立相談支援センターへの通所により、生活リズムを整えていく。 ・生活基盤の確立を目指し、家計の収支を見える化し、具体的な返済計画をたてる。 ・過去の職歴を踏まえ経験を活かせる職場を中心に情報収集していく。		
結果・改善状況	・通所により自己肯定感が向上、積極的に就労活動に取り組んだ結果、自身のスキルを活かせる会社に就職した。 ・収入が確定した後、収支計画表並びに雇用契約書等から家賃をはじめとした滞納の分割返済が可能となり、転居の必要は無くなった。 ・未来を描け活力ある生活を取り戻す事ができた。		